

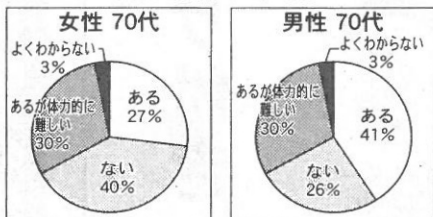
70代の4割「仕事したい」

ソーシャルサービス(東京都千代田区)が実施したシニアに対する就労調査で、就労意欲があるにも関わらず、実際は就労していない人が60代以上で2〜3割程度いることが分かった。特に高齢であっても就労意欲が高く、70代男性の4割が「仕事をしたい」と回答した。

高い就労意欲維持

就労実態を聞いたところ、50代女性は「仕事をしたい」が61%、「仕事をしていない」が39%だった。60代になると「仕事をしたい」が41%、「仕事をしていない」が59%と逆転。70代では男性の20%、女性の12%が「仕事をしたい」と回答。60代の60〜70代では退職

就労意欲があるか



後、まだ仕事ができることを考えている「時間があふることの理由が多く、余暇時間の増加が就労意欲につながっていることが読み取れる。就労意欲がある人の割合は、60代では男性の65%、女性の46%。70代では男性の41%、女性の27%が「仕事をしたい」と回答している。社会貢献活動については60代男性の24%、女性の26%が「現在活動している」と回答。70代でも男性の37%、女性の34%おり、男性では特に80代以上でも4割近い人が社会貢献活動を続けていることが分かった。

今年2月、50〜70代を中心としたシニアにインターネットを通じて調査し約800名が回答した。